

かかる経費についてわかりやすく公表していく。

介護保険の改善に向けて

介護保険を利用者にとって使いやすい、持続可能な安定した制度にするための取り組みが求められる。

①在宅介護支援センターにどのような問題があるか、保険者として検証すべきではないか。②高齢者に対する介護予防として、地域の在宅介護支援センター・保健師・民生委員がチームを組み、きめ細かな働きかけをしてはどうか。

区長 ①9カ所の在宅介護支援センターとの会議を毎月開催し、問題点の報告を受け、協議している。今後は、利用者の満足度や事業効果なども検証する。②健康福祉都市宣言を行い、高齢者会館を健康づくりの施設運営に転換し、介護予防のメニューを増やすほか、関係者の連携強化に努めるなど介護予防の取り組みを強化していく。



公明党議員団 こしみず 敏明

最近、資源回収事業に出された古新聞などの持ち去り行為が、地域で問題となっており、区民からの苦情も多く寄せられている。①他区では、清掃事業にかかわる条例を改正し、持ち去り行為に各区独自の対処を始めた事例もある。中野区でも、条例を改正してこの問題に取り組むべきではないか。②現在、行政と民間の両方で資源回収が行われているが、長期的には区民の集団回収にシフトしていくべきと考える。区としての中・長期の展望について聞きたい。

回収に出された資源の持ち去り行為を防げ

最近、資源回収事業に出された古新聞などの持ち去り行為が、地域で問題となっており、区民からの苦情も多く寄せられている。①他区では、清掃事業にかかわる条例を改正し、持ち去り行為に各区独自の対処を始めた事例もある。中野区でも、条例を改正してこの問題に取り組むべきではないか。②現在、行政と民間の両方で資源回収が行われているが、長期的には区民の集団回収にシフトしていくべきと考える。区としての中・長期の展望について聞きたい。

都の「あんしん入居制度」は利用料や預託料が高く、他区では、独自の高齢者等保証人代行制度や加入助成を開始する動きが出てきている。中野区でも、高齢者の居住安定

確保について取り組みを強化すべきではないか。また、入居保証制度についても検討すべきではないか。

区長 これからの区政にとって大きな課題と考えている。入居を敬遠されがちになり暮らさし高齢者に対し、民間会社の保証人代行制度や都の制度などの活用も含め、他区の取り組み状況や区の現状を分析しながら取り組みを検討していきたい。

集中豪雨対策について ①江古田川沿いの江古田一丁目の新青梅街道付近では、



河川拡幅工事中

確保について取り組みを強化すべきではないか。また、入居保証制度についても検討すべきではないか。

区長 これからの区政にとって大きな課題と考えている。入居を敬遠されがちになり暮らさし高齢者に対し、民間会社の保証人代行制度や都の制度などの活用も含め、他区の取り組み状況や区の現状を分析しながら取り組みを検討していきたい。

集中豪雨対策について ①江古田川沿いの江古田一丁目の新青梅街道付近では、

治安対策を急げ

自由民主党・民社クラブ きたごう 秀文



中野区でも昨今、犯罪が増加している。いつ、被害にあうかわからない空き巣や通り魔、外国人犯罪などに対して、行政も区民も、治安に強い意識を持つことが必要である。

盛り込む考えである。②犯罪発生状況や地域の主体的な取り組みをみながら、今後、検討していきたい。

防災支援拠点の構築を

①区は「安全で安心なまちづくりを推進する条例」をつくる予定とのことだが、基本的な考え方は。②区役所の車や自転車に「パトロール中」のステッカーを貼ってはどうか。また、郵便配達バイクにも貼ってもらうよう郵便局に協力を求めているどうか。

災害時に安全な避難ルートを確認し、スムーズに救援活動を行うためには、地域に身近な防災支援拠点が欠かせない。①24時間営業のコンビニは、簡易自家発電装置により、地域の灯台として食料提供の場に、郵便局や駅は、情報端末や地域マップを常設して、被災情報や近隣被災住民への支援の拠点にしてはどうか。

区長 ①条例案は区、区民、事業者の基本的な役割を定め、犯罪発生状況の周知、区民の地域活動や組織づくりの支援、空き家の持ち主への適切な管理を促す規定などを

区長 ①一部のスーパー

とは災害時の食料供給に返しているが、どう対応してきたのか。②CTNでテロップにより水位情報を提供しているが、更にタイムリーで充実した内容にしていくべきではないか。



総合防災訓練

区長 ①集中豪雨対策として、都と協力し、江古田公園の一部を使用した河川拡幅工事を実施している。また、下水道整備を要請し、第二妙正寺川幹線の整備を進めているところで、平成18年度頃に供用開始予定と聞いている。

区長 ①集団回収については年間10件ほど、行政回収は月に10件ほどである。②現在、集団回収を視野に入れた条例による規制を検討しているところである。

区民が集めた資源を回収場所から持ち去る業者がいると聞いているが、①集団回収、行政回収についての苦情や相談件数は年間どのくらいか。

区長 ①集団回収については年間10件ほど、行政回収は月に10件ほどである。②現在、集団回収を視野に入れた条例による規制を検討しているところである。

警大等跡地は

緑豊かな防災公園に

日本共産党議員団 かせ 次郎



中野駅周辺まちづくりについては、調査検討委員会の中では議論が尽くされず、意見もまとまっていない状況である。①3月の検討委員会による計画案案まとめは、事務局主導で強引に行うことなく、延期すべきでは。②警察大学校等移転跡地土地利用転換計画案にあるように、防災公園を中心におき、既存樹林を生かした緑豊かな計画になるよう再検討すべきでは。③新会社を設立して行う中野サンプラザ取得は、再開発の種地づくりである。再開発事業の破綻する事例が全国で発生している現在、取得は中止すべきではないか。

区長 ①区民の意見や要望を参考に、調査検討委員会が3月末までにまとめた計画案を踏まえ、04年度、区の計画案を策定する予定である。素案のまとめを延期する考えはない。②都および杉並区の了解も受け、警察病院および区画街路以外、防災公園を含めた見直しを行っている。既存の緑に配慮し、不燃化建築物に囲まれたオープンスペースを十分に確保しながら、防災空間として機能するものをつくっていききたい。③中野サンプラザの立地は、今後のまちづくりの中で極めて重要である。中野の

将来に対する区民の意向を反映させるため、区が関与した形でこれからも進めていきたい。

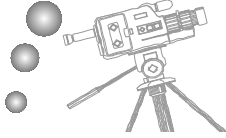
ひとり暮らし高齢者の支援充実を

①世田谷区では、高齢者の不安解消を目的に「24時間・365日の安心」モデル事業を実施するが、中野区も同様の24時間対応の緊急ヘルパー派遣制度を実施すべきではないか。②区が高齢者見守り支援ネットワーク「元気でねっ」とへの協力を期待していた民生委員や町会、自治会からは、この制度に対する不満の声が出ている。今後、ボランティア協力をどう確保していくのか。

区長 ①世田谷区のモデル事業は、これから始まるというところ。今後、その成果などを参考にしていきたい。

この制度には、現に地域で活躍している方々の協力が不可欠であり、気持ちよく取り組んでもらえるよう、寄せられた意見などを踏まえて内容を手直ししている。

中野区議会のテレビ放送が始まります。



中野区議会では、開かれた議会の実現に向け、6月開催予定の第2回定例会から、CTN(シティテレビ中野)で、議会のテレビ放送を開始します。内容は、各議員の一般質問の様態などの録画放送です。

詳しい放送予定などは、決まり次第、区議会ホームページの「区議会からのお知らせ」の中に掲載します。

お問い合わせは、区議会事務局(電話3228-5585)まで。

是非ご覧下さい。



警察大学校等跡地